

今回の特集は「小児診療における包括的医療」についてです。執筆者の先生方には、サブスペシャリティー領域の専門家のみならず、一般小児科医の先生方にもご興味を持っていただけるように解説をお願いしました。

一口に包括的医療といっても、さまざまな観点があることは皆様ご存知の通りです。まずは、疾患別あるいは診療領域の壁を越えた包括的な医療の提供です。複数の疾患や発育・発達の問題、精神神経学的な背景がかかわる場合には、関係する複数の専門領域の連携によって子どもの心身を総合的に診る必要があります。

子どもたちの未来を見据えた包括、すなわちライフステージの区切りを越えた包括も重要です。具体的には、小児科から成人科への移行期医療の課題も重要ですし、小児期においても成人期同様にライフステージが存在し、その変化に応じた適切な対応が必要になることも珍しくありません。

子どもの健康増進のためには地域の包括ケアが不可欠です。さまざまな疾患の発症予防に努め、さらに、虐待など社会心理学的な負の要因によって生じ

る問題についても未然に対応するためには、医療機関のみならず、保育施設や教育施設を含めた地域との連携が欠かせません。

今回の特集では、中西敏雄先生の総論に引き続き、アレルギー疾患（小林茂俊先生）、発達障害（金川奈央先生）、子ども虐待（杉山登志郎先生）、染色体異常疾患（稲井慶先生）、先天性心疾患の術後（島田衣里子先生）について、それぞれの専門家の方々に解説していただきました。限られた誌面では、小児診療における包括的医療を“包括的”に取り上げることが難しかったのですが、包括という概念について、異なる視点から深く考えるための話題提供となるよう、バランスを考えて特集を組ませていただきました。

子どものための包括的医療とは、まさに包括的な視野が求められる高度な医療と言えると思います。子どもたちやその家族の代弁者として、子どもを取り巻くあらゆる問題に立ち向かう総合医として、“包括”という言葉の意味についてあらためて考える機会を、この特集が提供できればと祈っております。

（高橋 孝雄）

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第62巻 第1号 1月号

2021年1月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料で〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕

Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕

Fax 03(3813)0288

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。